

# 区民のページ

各区からのお知らせや魅力・取り組みなどを紹介します。

※人口は住民基本台帳による数(令和3年2月28日現在)。



## 北区

人口: 296,167人 面積: 450.70km<sup>2</sup>

北区役所

〒700-8544 北区大供一丁目1-1 (市役所本庁舎および分庁舎内)

### 御津地区ふれあい事業

御津地域で活動する御津活性化事業実行委員会では、地域の皆さんが集い、世代間の親睦を深めることを目的に、毎年春・夏・秋に「御津地区ふれあい事業」を開催しています。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、令和3年度は開催に向け準備を進めています。

春の金川桜まつりは昨年同様、中止となりますが、夏には御津スポーツパークで、戦前まで各町内会で行われていた盆踊りを主体とした納涼まつりを行います。打ち上げ花火も

予定されていますので、来場の価値があります。また、秋には宇甘西地区にある市指定重要文化財の河原邸で、琴の演奏と茶席を設けてお月見会を行います。



▲令和2年度 サプライズ花火の様子

毎年恒例となったイベントを通じて、地域コミュニティの育成・活性化が期待されます。



#### ●問い合わせ

同実行委員会事務局  
二宮さん

☎090-2007-3223

#### ●令和3年度の開催予定

- ・金川桜まつり 今年度中止
- ・納涼まつり 8月14日(出)
- ・河原邸お月見会 9月18日(出)

※開催状況は事前にご確認ください



## 中区

人口: 147,955人 面積: 51.24km<sup>2</sup>

中区役所

〒703-8544 中区浜三丁目7-15

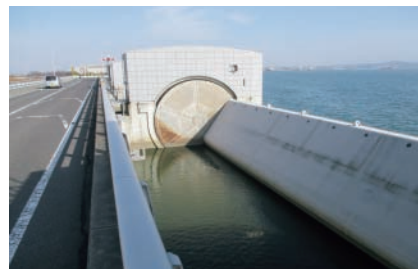
### 百間川河口水門と水門広場～眺望良好です！～

皆さんは百間川河口にある水門を見たことがあるでしょうか？この水門が現在の形で完成したのは平成27年で、2つの水門で構成されています。西側の水門は従来あるもので、「昭和水門」と呼ばれています。東側の水門は旭川から百間川への分流量が増やされたことにより、新たに増築されたもので、「平成水門」と呼ばれています。

一般に水門というと鋼製のパネルを上げ下げして水を放流、遮断するイメージですが、平成水門は円筒形のゲートが回転することにより水を

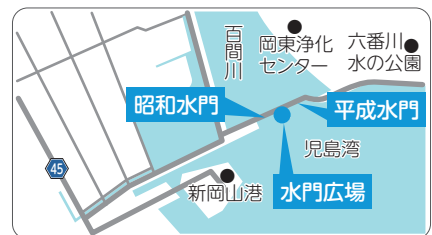
放流、遮断する「ライジングセクターゲート」という形式を採用しており、この形式のゲートとしては国内最大級です。

また、昭和水門と平成水門の間には芝生が敷かれた水門広場があり、ここからは両方の水門を眺めること



ができます。広場はとても眺望がよく、南に金甲山、北には操山を望むことができます。入り口に駐車場もあるので、これからの気候の良い時期に、広場でのんびり過ごしてみたいかがでしょうか。

(広場開放時間: 9時～17時)

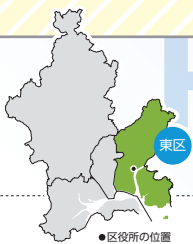


#### ●問い合わせ

岡山河川事務所 百間川出張所  
☎086-277-7469

各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表 ☎086-803-1000



## 東区

人口：94,591人 面積：160.53km<sup>2</sup>

東区役所

〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

### 春の西大寺緑花公園 ～散策を自然への入り口に～

西大寺緑花公園は東区役所の南側にある緑豊かな公園で、四季折々のさまざまな花木を楽しむことができます。多くの樹木がある西大寺緑花公園ですが、全ての樹木にラベルを付けており名前を知ることができます。

ラベルは3種類あり、中でも深緑色のラベルのQRコードを読み取ると「Web植物辞典」につながるため、より詳しく知りたい人におすすめです。この深緑色のラベルは公園内の百花プラザで配布している「西大寺緑花公園花めぐりマップ」と連動し

ており、番号で開花時期や場所を調べることができます。他にも公園で体験学習を行った生徒や職員の手作りラベルや白いラベルがあります。

樹木の名前を知ることにより自然を身近に感じられると思います。宝探しをするように1本1本樹木の



▲春の公園風景

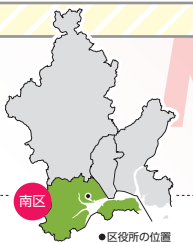
名前を探しながら散策するのも春の公園の楽しみではないでしょうか。四季折々の変化を、目の高さで観察することができますので、ぜひ公園で自然への入り口の鍵を見つけてみてください。



▲QRコード付きラベル

#### ●問い合わせ

西大寺緑花公園・百花プラザ  
☎086-944-8716



## 南区

人口：169,003人 面積：127.48km<sup>2</sup>

南区役所

〒702-8544 南区浦安南町495-5

### 岡山県重要文化財 ～「児島湾開墾第一区の樋門群」をご紹介します～

南区西高崎地内の約1.6kmにわたる桜並木で有名な宮川桜堤沿いには、「片崎樋門」、「常川樋門」、「宮川樋門」という3つの樋門があります。

これらは明治32年～38年にかけて行われた児島湾干拓第一区の際に建造され、「児島湾開墾第一区の樋門群」と呼ばれています。

樋門群は、当時藤田組の顧問技師であった笠井愛次郎工学博士によって設計され、本体には地元産の花こう岩がふんだんに用いられています。通水部には煉瓦造りのアーチが採用され、また、傘灯笼の樋柱を備えるなど、近代和風のデザインが特徴です。日本最古のオランダ工法によ



▲片崎樋門



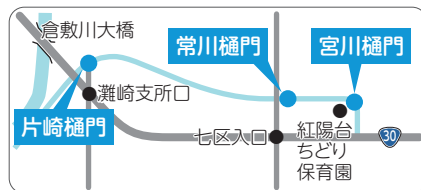
▲常川樋門



▲宮川樋門

るこれらの樋門は、平成20年に岡山県重要文化財に指定されました。

樋門は、洪水で水位が高くなった川から宅地への水の逆流を防ぐための重要な施設です。干拓事業の象徴として、先人の功績や苦勞を感じられる地域の貴重な財産である樋門をぜひ訪れてみてください。



#### ●問い合わせ

南区役所灘崎支所総務民生課  
☎086-363-5201